

資料：拡張歯式コード仕様V0.9

現在歯が処置歯で状態不明、又は歯内療法中の仮封、形成のまま、あるいは修復物等の脱離の場合に記入します。

	10. 処置歯 (状態不明、治療中又は脱離)	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	処置歯 (状態不明) * 【う歯 (処置歯○)】	
3	窩洞形成歯又は脱離 (充填物) *	
4	窩洞形成歯又は脱離 (インレー) *	
5	窩洞形成歯又は脱離 (支台築造) *	
6	歯冠形成歯又は脱離 (部分冠) *	
7	歯冠形成歯又は脱離 (全部冠) *	
8	仮封 (歯内療法含む治療中) *	

11. 処置歯 (部分修復)

現在歯が部分修復されている場合に記入します。

	11. 処置歯 (部分修復)	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	(部分修復) セメント充填 *	
3	(部分修復) CR 充填 *	
4	(部分修復) アイオノマー充填 *	
5	(部分修復) アマルガム充填 *	
6	(部分修復) インレー (金属色) *	
7	(部分修復) インレー (金色) *	
8	(部分修復) インレー (歯冠色) *	
9	(部分修復) アンレー (金属色) *	
10	(部分修復) アンレー (金色) *	
11	(部分修復) アンレー (歯冠色) *	
12	(部分修復) 3/4 冠 (金属色) *	
13	(部分修復) 3/4 冠 (金色) *	
14	(部分修復) 3/4 冠 (歯冠色) *	
15	(部分修復) 4/5 冠 (金属色) *	
16	(部分修復) 4/5 冠 (金色) *	
17	(部分修復) 4/5 冠 (歯冠色) *	

資料：拡張歯式コード仕様V0.9

18	(部分修復) ラミネートベニア*	
19	(部分修復) 接着冠 (金属色) *	
20	(部分修復) 接着冠 (金色) *	
21	(部分修復) 接着冠 (歯冠色) *	
22	(部分修復) テンポラリークラウン (TeC・プロビ/リテナ) *	

1 2. 窩洞

現在歯が部分修復で、レジン充填あるいはインレー修復の場合に、歯冠部、歯頸部、歯根部の別、単純窩洞、複雑窩洞の別を記入します。

	1 2. 窩洞	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	単純窩洞 (充填) ・歯冠部	「・歯冠部」の追加案
3	単純窩洞 (インレー) 歯冠部	「・歯冠部」の追加案
4	複雑窩洞 (充填) ・歯冠部	「・歯冠部」の追加案
5	複雑窩洞 (インレー) ・歯冠部	「・歯冠部」の追加案
6	単純窩洞 (充填) ・歯頸部	追加案
7	複雑窩洞 (充填) ・歯頸部	追加案
8	単純窩洞 (充填) ・歯根部	追加案
9	複雑窩洞 (充填) ・歯根部	追加案

1 3. 歯面 (切端・咬合面 I O*)

	1 3. 歯面 (切端・咬合面 I O*)	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	切端・咬合面 I O*	

1 4. 歯面 (唇側面・頬側面 B*)

	1 4. 歯面 (唇側面・頬側面 B*)	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	唇側面・頬側面 B*	

15. 歯面（口蓋側面・舌側面P L*）

	15. 歯面（口蓋側面・舌側面P L*）	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	口蓋側面・舌側面P L*	

16. 歯面（近心面M*）

	16. 歯面（近心面M*）	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	近心面M*	

17. 歯面（遠心面D*）

	17. 歯面（遠心面D*）	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	遠心面D*	

18. 処置歯（全部修復）

現在歯あるいは欠損歯（インプラント）が全部修復の場合に記入します。

	18. 処置歯（全部修復）	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	（全部修復）全部金属冠（金属色）*	
3	（全部修復）全部金属冠（金色）*	
4	（全部修復）前装冠（金属色）*	
5	（全部修復）前装冠（金色）*	
6	（全部修復）メタルボンド（金属色）*	
7	（全部修復）メタルボンド（金色）*	
8	（全部修復）レジンジャケット冠*	
9	（全部修復）硬質レジンジャケット冠*	
10	（全部修復）コーヌス冠（金属色）	
11	（全部修復）コーヌス冠（金色）	
12	（全部修復）非金属冠*	
13	（全部修復）テンポラリークラウン	

	(TeC・プロビ/リテナ) *	
14	(全部修復) 乳歯金属冠*	
15	(全部修復) 小児保険装置*	
16	(全部修復) 歯冠継続歯*	

19. 処置歯 (その他修復)

現在歯が部分修復又は全部修復以外の場合、あるいはインプラントが全部修復以外の場合に記入します。

	19. 処置歯 (その他修復)	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	根面板 (金属色) *	
3	根面板 (金色) *	
4	根面板 (歯冠色) *	
5	支台築造 (メタルコア)	
6	支台築造 (非金属コア)	
7	アバットメント	
8	アタッチメント (磁性)	
9	アタッチメント (バー)	
10	アタッチメント (磁性・バー以外)	
11	矯正ダイレクトボンドブラケット (金属)	
12	矯正ダイレクトボンドブラケット (非金属)	
13	矯正ダイレクトボンドブラケット (舌側)	
14	矯正帯環	
15	矯正固定性保定装置又は暫間固定	

20. 連結冠・支台歯

現在歯が連結冠あるいはブリッジの支台歯 (インプラント含む) を記入します。

	20. 連結冠・支台歯	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	連結冠	
3	支台歯 (インプラント含む) *	

21. 連結冠・ブリッジ番号

資料：拡張歯式コード仕様V0.9

連結冠あるいはブリッジの場合に、固定式（無表記）、可綴式の別と何装置目かを記入します。

記録順は歯科レセ電算と同様に右上遠心から右上近心、左上近心から左上遠心、右下遠心から右下近心、左下近心から左下遠心の順に装置数を記入します。

	2 1. 連結冠・ブリッジ番号	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	同顎 1 装置目	
3	同顎 2 装置目	
4	同顎 3 装置目	
5	同顎 4 装置目	
6	同顎 5 装置目	
7	同顎 6 装置目	
8	同顎 7 装置目	
9	同顎 8 装置目	
10	同顎 1 装置目（可撤式）	追加案
11	同顎 2 装置目（可撤式）	追加案
12	同顎 3 装置目（可撤式）	追加案
13	同顎 4 装置目（可撤式）	追加案
14	同顎 5 装置目（可撤式）	追加案
15	同顎 6 装置目（可撤式）	追加案
16	同顎 7 装置目（可撤式）	追加案
17	同顎 8 装置目（可撤式）	追加案

2 2. 鉤歯

現在歯あるいは欠損歯（インプラント）が義歯の鉤歯になっている場合に記入します。

	2 2. 鉤歯	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	鉤歯（レスト形成等あり）	
3	鉤歯（レスト形成等なし）	

V. 欠損歯の内容パート

2 3. ポンティック

資料：拡張歯式コード仕様V0.9

欠損歯部位がポンティックの場合に記入します。

	23. ポンティック	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	鑄造ポンティック（金属色）＊	
3	鑄造ポンティック（金色）＊	
4	前装ポンティック（金属色）＊	
5	前装ポンティック（金色）＊	
6	金属裏装ポンティック（金属色）＊	
7	金属裏装ポンティック（金色）＊	
8	メタルボンドポンティック（金属色）＊	
9	メタルボンドポンティック（金色）＊	
10	非金属冠ポンティック＊	
11	テンポラリークラウンポンティック＊ （TeC・プロビ/リテナ）	

24. 義歯

欠損歯部位が義歯の場合に記入します。

	24. 義歯	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	義歯（レジン床）＊	
3	義歯（熱可塑性樹脂床）＊	
4	義歯（金属床）＊	
5	義歯（ノンクラスプデンチャー）＊	
6	義歯（広範囲顎骨支持型補綴（床義歯形態））＊	
7	顎義歯（レジン歯）	追加案

25. 複数義歯番号

欠損歯部位の義歯が何床目かを記入します。

記録順は歯科レセ電算と同様に右上遠心から右上近心、左上近心から左上遠心、右下遠心から右下近心、左下近心から左下遠心の順に装置数を記入します。

	25. 複数義歯番号	内容
0	情報なし	
1	該当なし	

2	1 顎 2 床目	
3	1 顎 3 床目	

2 6. 義歯人工歯

欠損歯部位の義歯人工歯などを記入します。

	2 6. 義歯人工歯	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	レジン歯	
3	硬質レジン歯	
4	スルフォン樹脂レジン歯	
5	陶歯	
6	金属歯 (金属色)	
7	金属歯 (金色)	

2 7. 義歯大連結子

欠損歯部位の義歯に大連結子が使われている場合に記入します。

	2 7. 義歯大連結子	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	屈曲バー (リングル又はパラタル)	
3	鋳造バー (リングル又はパラタル)	
4	プレート (リングル又はパラタル)	

VI. その他パート

2 8. 口腔病理等

軟組織など歯以外に病的所見がある場合に記入します。

	2 8. 口腔病理等	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	テキスト	

資料：拡張歯式コード仕様V0.9

29. 標準プロファイル26項目

標準プロファイル26項目の項目番号と該当するしないを記載します。

	29. 標準プロファイル26項目	内容 (該当あり：1、なし：0)
0	情報なし	
1	該当なし	
2	1:乳歯・Dcd	2. 歯種コード (4桁)
3	2:健全歯・Sou	8. 健全歯
4	3:C1~C3(治療中を含む)・C123	9. 未処置歯、または10. 処置歯 (状態不明、治療中又は脱離)
5	4:半埋伏・埋伏・RT	7. 歯の埋伏/分割
6	5CR充填・セメント充填・CR	11. 処置歯 (部分修復)
7	6:インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠金属色・In	11. 処置歯 (部分修復)
8	7:インレー、アンレー、3/4冠、4/5冠歯冠色・InTC	11. 処置歯 (部分修復)
9	8:アマルガム充填・AF	11. 処置歯 (部分修復)
10	9:切端・咬合面・IO	13. 歯面 (切端・咬合面 IO*)
11	10:唇側面・頬側面・B	14. 歯面 (唇側面・頬側面 B*)
12	11:口蓋側面・舌側面・PL	15. 歯面 (口蓋側面・舌側面 PL*)
13	12:近心面・M	16. 歯面 (近心面 M*)
14	13:遠心面・D	17. 歯面 (遠心面 D*)
15	14:全部金属冠(FMCほか)・FMC	18. 処置歯 (全部修復)
16	15:前装冠(HR、MBほか)・HR	18. 処置歯 (全部修復)
17	16:HJC、セラミックほか・HJC	18. 処置歯 (全部修復)
18	17:支台歯(インプラントも可)・Abu	19. 処置歯 (その他修復)
19	18:ポンティック・Pon	23. ポンティック
20	19:残根・根面板ほか・C4	9. 未処置歯、又は19. 処置歯 (その他修復)
21	20:欠損・MAM	6. 現在歯の有無
22	21:死後脱落の疑い・MPM	6. 現在歯の有無
23	22:義歯(人工歯あり)・Den	6. 現在歯の有無

24	23:インプラント・Impl	6. 現在歯の有無
25	24:仮歯(TEK、プロビ等)あり・TeC	11. 処置歯(部分修復)、又は18. 処置歯(全部修復)
26	25:歯牙あり(状態不明)・Pre	6. 現在歯の有無
27	26:情報なし・Non	6. 現在歯の有無

30. 入力年月日

入力年月日を西暦8桁で記入します。

	30. 入力年月日	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	西暦	

31. 予備

予備項目です。「0」を記入します。

	31. 予備1	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	予備1	

32. 予備

予備項目です。「0」を記入します。

	32. 予備2	内容
0	情報なし	
1	該当なし	
2	予備2	

資料：歯科ベンダ各社の初診情報実装内容と標準データセットの関係

初診時口腔状態の記載用語と標準データセットとの関連

	A社	B社	C社	D社	E社	F社	F社	H社	I社	総計
歯のデータセット(Tooth Data Set)	36	35	29	33	60	30	23	11	12	269
歯の状態(Status)	36	35	29	33	60	30	23	11	12	269
欠損(Missing/Absent)	5	5	4	4	13	2	3	3	1	40
補綴あり(Replaced)	4	4	3	2	12	2	2	3		32
その他	1	1	1	2	1		1		1	8
歯あり(Present)	31	30	25	29	47	28	20	8	11	229
修復あり(Restored)	29	28	25	26	44	24	18	8	9	211
修復なし(Unrestored (Virgin))	2	1		3	3	2	2			13
その他		1				2			2	5
有床義歯のデータセット(Plate Denture Data Set)	5	3		16		3	2	1	1	31
オーバーデンチャー(残根上義歯を含む)(Overdenture)	2			6						8
維持装置*(Retainer)				6						6
鉤(Clasp)				6						6
コンビネーション鉤 (Combination Clasp)				1						1
線鉤(Wire Clasp)				3						3
鑄造鉤(Cast Clasp)				2						2
その他	2									2
全部床義歯(Full Denture)		1		3		1	1			6
部分床義歯(Removable Partial Denture)	1	2		7		2	1			13
維持装置*(Retainer)	1	1				1				3
鉤(Clasp)		1				1				2
その他	1									1
設計(Design)				4						4
両側処理(Bi-Lateral)				4						4
大連結子(Major Connector)				4						4
バー(Bar)				4						4
その他		1		3		1	1			6
ブリッジ・連結冠のデータセット(Bridge/Splinted Crowns Data Set)	2	2		1		2	2	1	1	11
固定式 (Fixed)	2	2		1		2	2	1	1	11
材料のデータセット(Material Data Set)				4						4
歯冠・ポンティック用材料(Material for Crown/Pontic) #6				4						4
金属色(Metallic Color)				4						4
非金色(Non-Gold Colored)				4						4
コバルトクロム合金 (Cobalt-Chromium Alloy)				1						1
ニッケルクロム合金 (Nickel-Chromium Alloy)				1						1
金銀パラジウム合金 (Gold Substitution Alloy (Ag-Pd-Au Alloy))				1						1
銀合金 (Silver Alloy)				1						1
歯・歯列の位置のデータセット(Location Data Set)			7			5	8			20
面(Surfaces) #2			7			5	8			20
遠心面 D (Distal)			1			1	1			3
近心面 M (Mesial)			1			1	1			3
口蓋側面・舌側面 P/L (Palatal/Lingual)			2			2	2			6
唇側面・頬側面 B (Labial/Buccal)			1			1	2			4
切端・咬合面 I/O (Incisal/Occlusal)			2				2			4
口腔病理のデータセット(Oral Pathology Data Set)	22	12	8	20	21	14	15	6	10	128
歯の位置異常(Anomalies of Tooth Position)	5	1	3	4	3	2	3		1	22
埋伏歯(Impacted Tooth)	5	1	3	4	3	2	3		1	22
骨性埋伏(Skeletal Impaction)	1	1	1		3	2	1		1	10
完全埋伏 (Complete Impaction)					2	1				3
半埋伏 (Partial Impaction)	1	1	1		1	1	1		1	7
その他	4		2	4			2			12
歯の形成異常(Anomalies of Tooth Formation)	2			2		2	1		2	9
エナメル質形成不全 (Amelogenesis Imperfecta)	1			1						2
過剰歯 (Supernumerary Tooth)				1		2	1		1	5
歯の重複(Duplication of Tooth)	1								1	2
歯の癒着 (Concrescence of Tooth)									1	1
歯の欠損(Tooth Missing)			1						1	2
先天性欠如 (Congenitally Missing)			1						1	2
歯の変化(Tooth Alterations)	15	9	4	14	18	7	7	6	5	85
う蝕(Caries)	5	4	1	7	5	3	3	4	4	36
C1	1	1		1	1	1	1	1	1	8
C2	1	1		1	1	1	1	1	1	8
C3	1	1		1	1	1		1	1	6
C4	1	1		1	1	1		1	1	7
その他	1		1	3	1		1			7
くさび状欠損・アブフラクション (Wedge-Shaped Defect/Abfraction)	1	1		1	1	1		1		6
歯の酸蝕 (Tooth Erosion)				1						1
歯の脱臼 (Luxation of Tooth)	1			1						2
歯の分割(Sectioned Tooth)	5	2	3		9	3	4			26
トライセクション (Trisection)	3				6	1	1			11
ヘミセクション (Hemisection)	2	2	3			2	3			12
ルートセパレーション (Root Separation)					3					3
歯の摩擦・咬耗 (Tooth Abrasion/Attrition)	1			2						3
歯冠破折(歯折) (Coronal Fracture)	2	1			1			1		5
歯根破折 (Root Fracture)				1	2					3
歯石 (Calculus)		1		1					1	3
歯周組織の変化(Periodontal Alterations)	2					3	4		1	10
歯肉炎(Gingivitis)	1	1					1			2
慢性歯周炎(Chronic Periodontitis)		1				3	3			7
軽度 (Mild)						1	1			2
中等度 (Moderate)						1	1			2
重度 (Severe)						1	1			2
瘻孔 (Fistulous Tract)									1	1
アンマッチ	4	5	3	21	18	11	2	3	11	78
総計	69	57	47	95	99	65	52	22	35	541

初診時口腔診査の登録用語と標準データセットとのアンマッチ

口腔診査登録用語	標準データセットの分類									総計
	歯のデータセット		有床義	口腔病理			その他			
	欠損	歯冠修復		歯の変化	歯周組織の変化	口腔病理	症状	診療行為	その他	
2次リエス				3						3
二次リエス				1						1
Hys							1			1
C〃				3						3
C0急化Pul				1						1
C1〃				1						1
C1`				1						1
C2'				1						1
C2〃				1						1
C3'				1						1
C3〃				1						1
不適合インレー		2								2
不適合冠		8								8
不良充填		2								2
歯CAD		1								1
失PZ								1		1
生PZ								1		1
Dul					1					1
AA					1					1
GA					1					1
Per						7				7
Pul						7				7
膿瘍					1					1
壊Pul						1				1
増Pul						1				1
単Pul						1				1
潰Pul						1				1
急化Pul						1				1
急化Per						1				1
漫化Per						1				1
急単Per						1				1
隙			2							2
隙(遠心)			1							1
隙(近心)			1							1
フックスパー			1							1
出血(小)							1			1
出血(大)							1			1
垂直打診							1			1
水平打診							1			1
電気診							1			1
歯肉の圧痛							1			1
床下部			1							1
部									1	1
保隙		1								1
未入力									1	1
自由記載									1	1
要抜歯									2	2
総計	0	14	6	14	4	23	6	2	5	74

口腔診査情報の標準交換規約具体案について

玉川 裕夫¹ 勝又 明敏² 青木 孝文³ 齊藤 孝親⁴ 鈴木 一郎⁵ 未瀬 一彦⁶

¹大阪大学歯学部附属病院 ²朝日大学口腔病態医療学講座

³東北大学大学院情報科学研究科 ⁴日本大学松戸歯学部 ⁵新潟大学医歯学総合病院

⁶大阪歯科大学歯科技工士専門学校

Proposal for practical information nomenclature in dental examination

Tamagawa Hiroo¹ Kawamata Akitoshi² Aoki Takafumi³ Saito Takachika⁴
Suzuki Ichiro⁵ Suese Kazuhiko⁶

¹Division of Medical Information, Osaka University Dental Hospital

²Department of Oral Radiology, Asahi University School of Dentistry

³Department of Computer and Mathematical Sciences, Graduate School of Information
Sciences Tohoku University

⁴Department of Social Dentistry, Research Institute of Oral Science Nihon University
School of Dentistry at Matsudo

⁵Division of Community Health Promotion, Niigata University Medical and Dental Hospital

⁶Osaka Dental University School of Dental Technology

The examination of a mouth at the initial diagnosis includes a lot of important keyword, such as identifications at large-scale disasters, practice information backups and data exchanges. We held the workshop in JCM1 2014 in Chiba to discuss this practical information exchange focused on a disaster and subsequent identifications.

After the workshop, the study meeting for standardization in dental practice of Ministry of Health, Labour and Welfare announced the new statement included dental data sets for identification, their definitions, tree structured maps and their correspondence lists to ANSI/ADA1058 data sets.

In this workshop, we push forward this directionality more and we are going to conduct concrete and in detail suggestions adapt to dental initial diagnoses. Two speakers are going to address their research. Professor Toshiaki Katsumata from Japanese Society for Oral and Maxillofacial Radiology will address a method to extract tooth position and tooth name data from dental images. I, the author of this article, from Japanese Society for Dental Practice Administration will address a map for the new nomenclature in dental examination.

Keywords: Dental Examination Practice, Disaster, Data exchange, Back up

1. はじめに

東日本大震災での経験をもとに、死後に得られた歯の情報を身元検索で活用するためには、どのような情報粒度であれば過不足ないかが検討されてきた¹⁾。また、厚生労働省の「歯科診療情報の標準化に関する検討会」2014年度の報告書では、歯の属性を表す用語に階層構造を与えることで、検索精度が向上すると記載されている²⁾。

しかし、歯科領域の標準化は死後の身元検索だけを目的とするのではなく、生前に診療所を受診したときの活用も視野にいれて行われるべきである。

今回のワークショップでは、日常診療に伴って発生する口腔情報のうち標準化の対象となる基本部分を、仮に「口腔状態のスナップショット」と呼ぶことにする。

図1にその概要を示した。

この口腔状態スナップショットを明確にすることで得られるメリットは大きいですが、現在標準化されているものが何か、そして今後標準化すべきものが何かを整理する必要がある。同時に、口腔の各種画像から抽出された診療情報をこのスナップショットと組み合わせることで、何が表現できるかを検討したい。

2. 用語体系と現状

図2に、上記の報告書に法歯科医学領域で使うデータ

セット(横幅の大きなノード)として記載されている用語群と今回検討する口腔状態スナップショットと関連を示した。

この図では、横幅の広いノード群が検討済み、逆に横幅の狭いノード群が、今後検討を要する内容である。

3. 用語体系作成の流れ

今回の用語体系作成の流れを図3に示した。

各医療機関では、すでにレセプトコンピュータあるいは電子診療録が導入されており、そこでは各社のマスターファイルが使われている。すなわち、歯科診療を行う医療機関で、現在電子的に蓄積されている口腔情報には、1) オンラインレセプト請求で使われる歯科病名、2) 同じく歯の部位コード、3) 保険診療の行為コード、4) 初診時の口腔状態があり、4) 以外は標準化コードが存在する。

そこで、4) で使われている用語を集約・分析・階層付を行うことで、口腔状態スナップショットを構成する用語を体系付けることができる。

具体的には、口腔状態の変化、診療行為と口腔状態の関連、技工装置、硬組織の状態、軟組織の状態、歯の状態の6領域で構成される。

参考文献

[1] 厚生労働省 歯科診療情報の標準化に関する検討会.
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-isei.html?tid=146689>.
 2013.

[2] 厚生労働省 第5回歯科診療情報の標準化に関する検討会資料. <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000076205.html>.
 2015.

口腔の各種画像

口腔状態のスナップショット

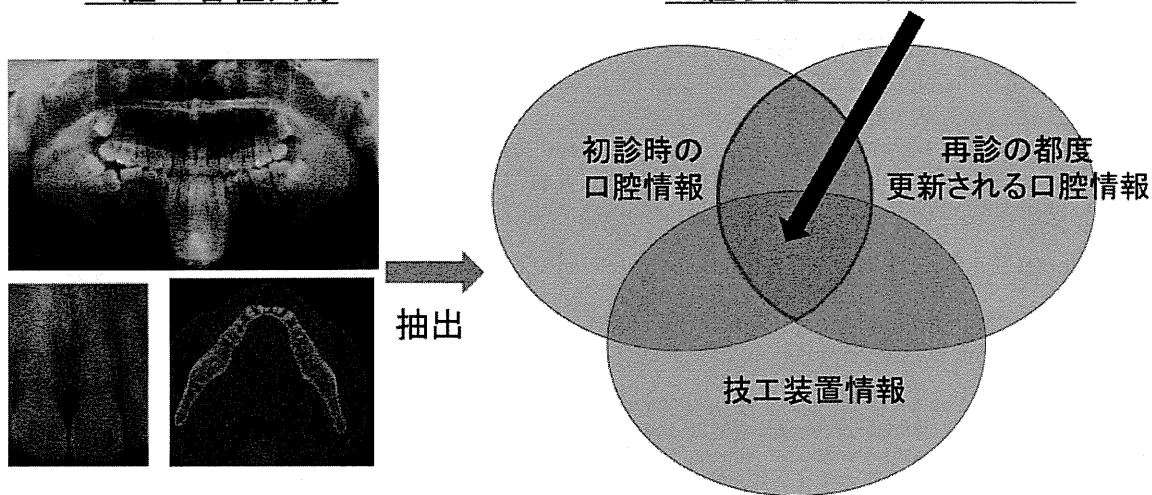


図1 図1:本ワークショップの位置付け
 口腔の各種画像から抽出した情報を口腔状態スナップショットと連携

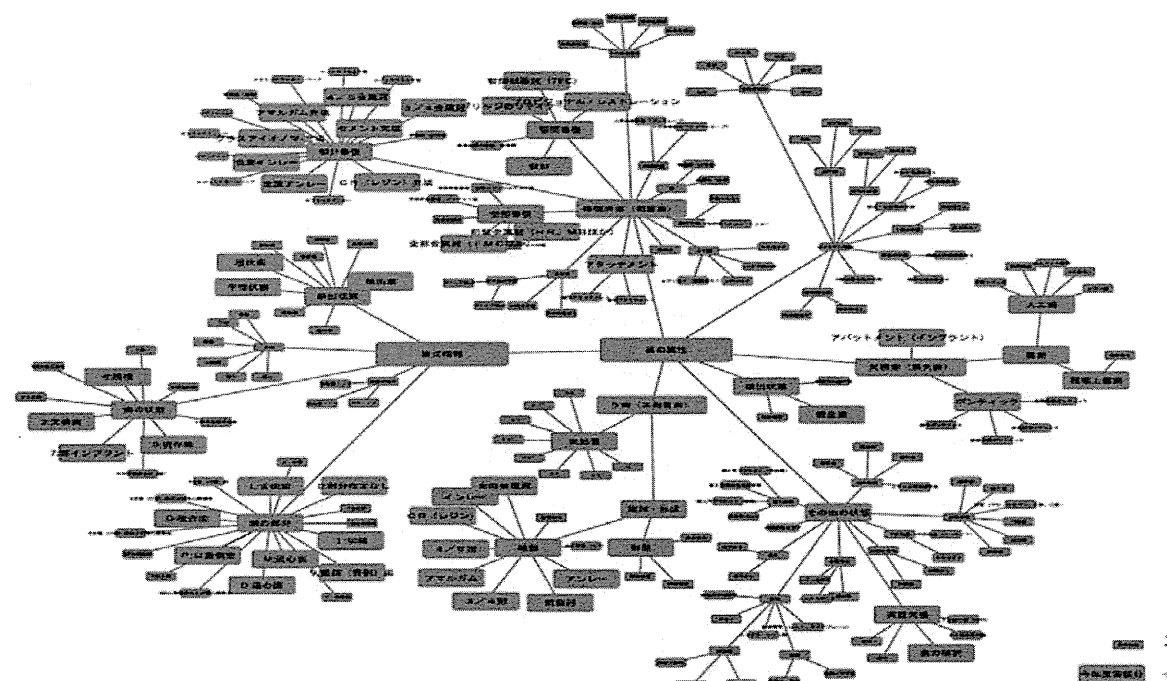


図2 用語体系と整理済データセットの関係
 法歯科医学領域の整理済データセット(横幅の大きなノード)と全体像

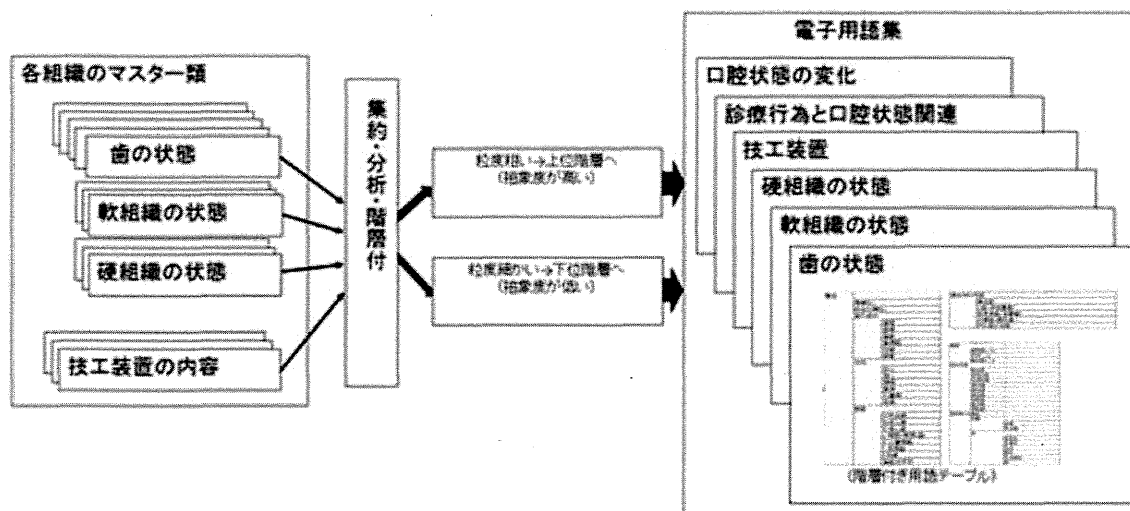


図3 用語体系作成の流れ

各医療機関で使われているマスターを集約・分析・階層付けする

A possible work item for DICOM WG22

Dec. 02, 2015

How about incorporating “dental data set” into a DICOM tag?

Committee on medical information in Japanese society for oral and maxillofacial radiology

Akitoshi KATSUMATA



Professor and Chairman

Department of oral radiology Asahi University, School of dentistry

1851-1 Hozumi Mizuho-shi, Gifu pref., 501-0296, Japan

kawamata@dent.asahi-u.ac.jp



Based on an idea named “A snap-shot for personal oral status” from

Prof. Hiroo TAMAGAWA

Division for Medical Information

Osaka University Dental Hospital

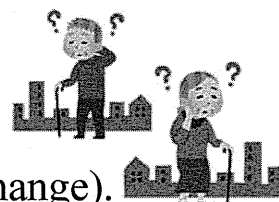
1-8 Yamadaoka, Suita, Osaka 565-0871, Japan



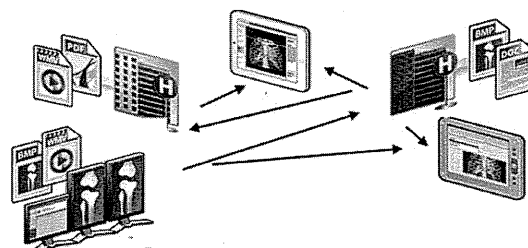
A possible work item for DICOM WG22

Usefulness of dental data set in a DICOM tag

➤ Identification of victims of natural disaster, war, crime and dementia.



➤ Medical (dental) data sharing (exchange).



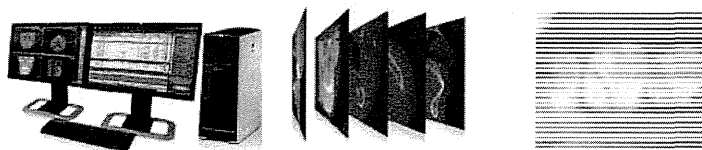
A possible work item for DICOM WG22

What kind of dental data set should be include?

- American Dental Association Standards Activities on Dental Forensic Identification
- ANS-ADA_Specification_No.1058_Forensic Dental Data Set

These documents say “Diagnostic image file should be DICOM format”.
In proposal method, dental data sets will be embedded into DICOM tag.

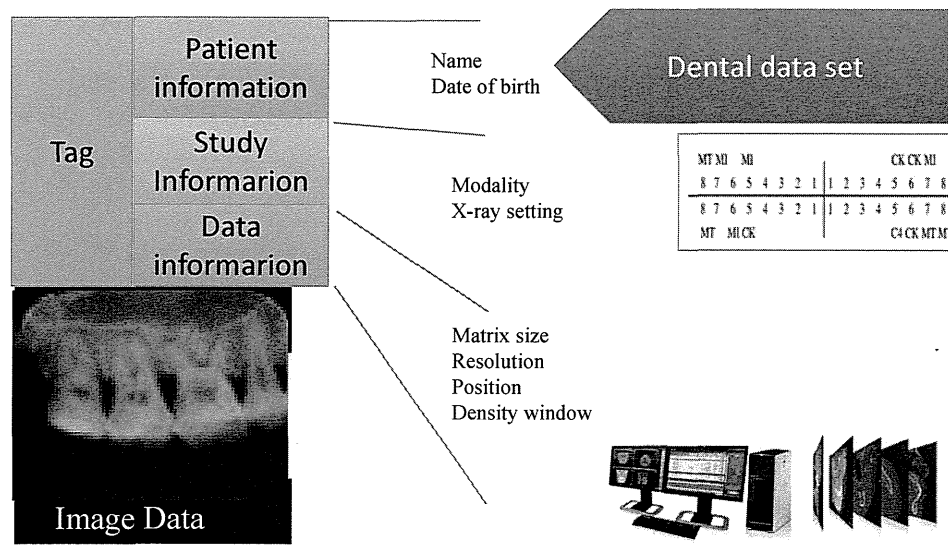
- A snap-shot for personal oral status (Prof. Tamagawa)
- Dental data extracted from panoramic radiograph (katsumata)

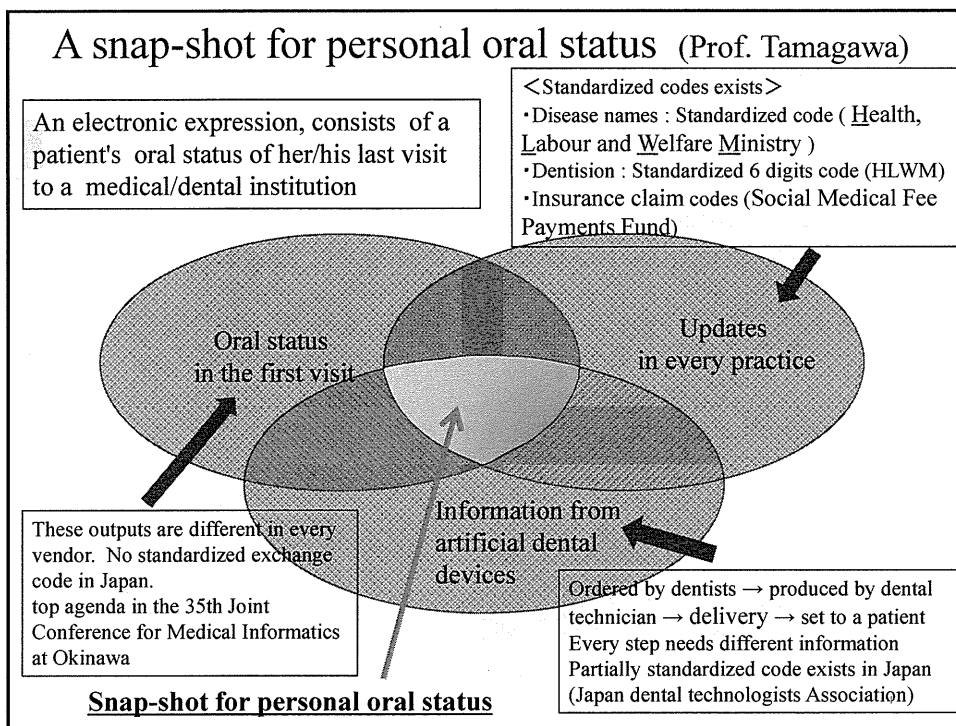


2

A possible work item for DICOM WG22

Where shall dental data set be placed within a DICOM tag?





A snap-shot for personal oral status (Prof. Tamagawa)

Purpose of the code set

- To establish dental technical term sets which has highly-compatibility with medical terms
- To establish a library of ante-mortem (present) personal dental information in case of a natural disaster
- To share care, welfare and medical information in community health care
- Data back-up and reconstruction in dental clinics



